

議 事 録 確 認

「EV-E301系蓄電池電車追加投入に伴う駅業務体制の見直しについて」に関する申し入れの交渉経過において、別紙のとおり確認した。

平成 29 年 3 月 3 日

東日本旅客鉄道株式会社大宮支社
総務部 勤労課長 原 潔



東日本旅客鉄道労働組合大宮地方本部
業 務 部 長 高橋 孝



〔別 紙〕

- (組 合) EV-E301系蓄電池電車追加投入に伴い宝積寺駅での操車業務等が廃止される根拠、及び廃止に伴い変化する業務内容を明らかにすること。また、体制見直しに伴いイベント等の対応が負担にならないようにすること。
- (会 社) 宝積寺駅において烏山線の車両留置等がなくなることから、操車業務及び入出区に伴う信号業務等が解消されるものである。また、イベント対応に伴う必要な応援は引続き実施していく考えである。
- (組 合) 施策実施においてメリットを明らかにすること。また施策実施以降、異常時対応において想定される課題を明らかにすること。
- (会 社) 操車業務等の解消により、傷害事故防止が図れるほか、より効率的な駅業務運営が可能になると考えている。なお、異常時の対応については、体制変更後も引続き状況把握に努めていく考えである。
- (組 合) 体制見直し以降も、宝積寺駅が「運転取扱い駅」「常時運転取扱い駅」と指定する根拠を明らかにすること。
- (会 社) 体制見直し後も、信号機及び転てつ器の取扱いを含めた運転取扱いを行うため、運転取扱い駅となる。なお、烏山線における線路閉鎖業務が日々発生していることから、常時運転取扱いのある駅と考えている。

- (組 合) 大宮支社管内で営業職と輸送職が混み運用を行っている箇所を示すこと。また、営業職・輸送職の主たる役割を明確にし、職名を踏まえて適正要員を配置すること。
- (会 社) 宝積寺駅の体制については、操車業務等が解消されることを踏まえ、運用していく。また、各職名の職務内容については就業規則に定めているところであり、今後も必要な要員は確保していく考えである。
- (組 合) 宝積寺駅の輸送職・営業職の配置においてアンバランスを解消すること。また、輸送職の育成における課題を明確にすること。
- (会 社) 社員の運用については、任用の基準に基づき、本人の適性などを総合的に勘案して決定することとなる。また、輸送職の技術継承については、要員事情等を勘案し育成していく考えである。
- (組 合) 今後の宝積寺駅への新入社員配属に関する考えを明らかにすること。
- (会 社) 新入社員の配属は各駅の特性や要員事情等を総合的に勘案し決定していく。
- (組 合) 体制見直しに伴い、兼掌窓口の応援体制が薄くなるため対策を講じること。なお、列車到着時にお客さま対応が集中することから、職場の意見をもとに優先順位のケースを示し社員の不安を解消すること。
- (会 社) 業務の運営に必要な要員は確保しているところである。体制変更後もお客さまのご利用状況を把握し、状況に応じた対応を行っていく考えである。
- (組 合) 体制見直し以降に、降雪時・降雨時の対応において応援体制を明確にすること。また、対応フローを明確にし周知徹底すること。
- (会 社) 降雪時や降雨時については、引続き必要に応じて支社・地区等からの応援を実施していく考えであり、対応等に必要な周知を行っていく考えである。
- (組 合) 宝積寺駅以北の委託駅での異常時対応は管理駅的那須塩原が行うこと。また、宝積寺駅からの応援体制は日勤者がいる場合とすること。
- (会 社) 業務委託駅において異常時が発生した際の応援は管理駅等が行うことが基本となるが、即応態勢の観点から、管理駅以外の箇所も、状況に応じた対応の要請を行っていくこととなる。
- (組 合) 体制見直し以降、通告券を交付する際のフローを作成し周知徹底すること。また、予測できる場合は応援体制を取ること。
- (会 社) 烏山線における運転通告券発行及び交付方法については、通達で周知しているところである。なお、必要に応じて応援を実施していく考えである。

- (組 合) 実施後に問題点が発生した時は速やかに改善に向けて取り組むこと。
- (会 社) 問題は生じないと考えているが、具体的に提起があれば「労使間の取扱いに関する協約（平成 27 年 10 月 1 日締結）」に則り取り扱っていく。